

構造物

## 鋼桁・橋台・盛土一体化による旧式橋梁の耐震補強

神田政幸 須賀基晃 横山知昭 舘山勝 杉本一朗

鋼鉄道橋梁は明治より架設され、供用後50年以上経過した橋梁数が現存橋梁数の半数を超える状況にあり、補修・補強、さらに取替等の措置を必要とする橋梁数も今後増加することが想定される。老朽鋼鉄道橋梁の取替では、仮線方式において仮線の構築や仮設桁・仮橋台の構築を要し、横取り方式において仮設架台等を要するなどどれも工期が長く費用が膨大となる。そこで架替え無しでの老朽鋼鉄道橋梁の延命化・耐震化を目的として、鋼桁・橋台・盛土の一体化による合理的な改築工法を提案した。本提案を「既設盛土一体化補強」、完成した橋梁を「既設盛土一体化橋梁」と呼ぶ。本論文では、鋼桁・橋台・盛土一体化による補強施工について述べるとともに、一体化効果について論ずる。

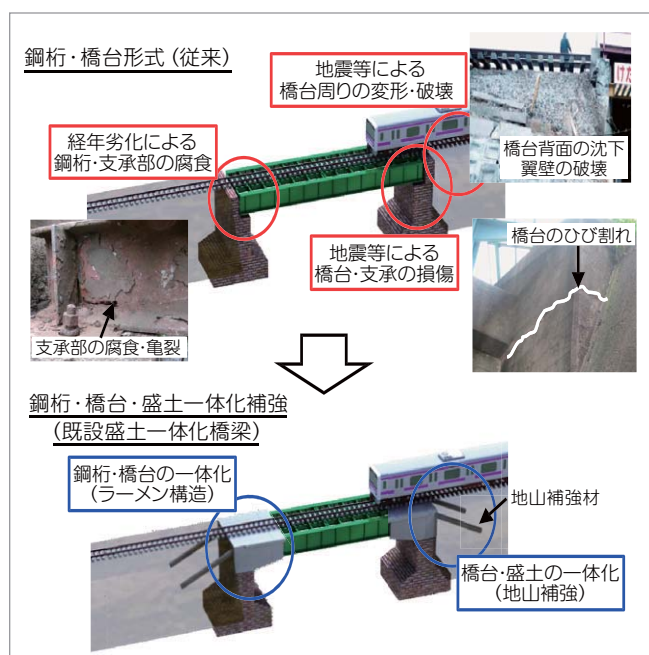


図 鋼桁・橋台・盛土一体化補強 (既設盛土一体化橋梁) の概要